

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-34 □支援部門		大船支所管理運営事務							
主管課	大船支所	関連課	関係各課							
分野名	行財政運営・コミュニティ活動の活性化									
目標 (目標値)	地域住民の身近なところできめ細やかな行政サービスを提供するとともに、支所機能の充実を図り、より一層の市民生活の向上・福祉増進を目指す。									
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	人口	177,161人	176,669人	176,484人						
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
	事業の対象者数	42,726人	42,594人	42,280人						
運営資源 状況	決算値(千円)	35,111千円	47,480千円	44,907千円						
	(国・県)		2,667千円							
	(負担金等)	46千円	78千円	67千円						
	(一般財源)	35,065千円	44,735千円	44,840千円						
	人員配置数	11.0人	11.0人	11.0人						
	人件費(千円)	92,695千円	95,371千円	96,454千円						
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	127,806千円	142,851千円	141,361千円						
	市民1人当 りの経費(円)	721円	809円	801円						
	対象者1人 当りの経費(円)	2,991円	3,354円	3,343円						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	日野市	立川市	三鷹市
	住所・戸籍移動	未実施	実施	実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施
	国保・年金移動	未実施	実施	実施	実施	未実施	未実施	実施	実施	実施
	市税等の収納	未実施	実施	実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
昼休み窓口業務の実施	◎	目標値	毎日	毎日	毎日	毎日				
		実績値	毎日	毎日						

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
大船支所運営事務	7,169千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	戸籍届、住民異動届、印鑑の登録・廃止、諸証明書の交付、国民年金、国民健康保険の各種届出、市税等の収納事務、地域団体との連絡・協調に係る事務を行う。		
大船支所管理事務	27,942千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	大船行政センターの維持管理を行う		
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	支所は、本庁の複数の窓口業務を担っているが、その多数の業務について、それぞれ個々にオンライン化が進められており、それに対応する業務が益々膨大となっている。また、支所業務に精通するためには、それなりの年数を要するため市民から求められる内容が深くなると対応に困難が生じる。			
課題解決のための取組	市民のニーズに対応できるように職場研修や外部研修に参加するなどして職員のスキルアップに努めた。			
未解決の課題	支所は、本庁の複数の窓口業務を担っているが、その多数の業務について、それぞれ個々にオンライン化が進められており、それに対応する業務が益々膨大となっている。また、支所業務に精通するためには、それなりの年数を要するため市民から求められる内容が深くなると対応に困難が生じる。			
今後の方針	窓口業務の多くを担う支所の現状において各職員のスキルアップを図り、遅滞なく業務が遂行できるよう職員や嘱託員に対して研修を行い、事務処理能力の向上を図っていく。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ □事業完了 所長名 熊谷 直行

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
大船支所運営事務	主な個別事業	296 電子複写保守	213	158	■適切	□見直し余地あり
		296 電子複写機リース料	146	146	■適切	□見直し余地あり
		296 非常勤嘱託員5人	5,040	4,788	■適切	□見直し余地あり
大船支所管理事務	主な個別事業	297 交熱水費	5,359	4,759	■適切	□見直し余地あり
		297 施設の維持修繕費	1,429	1,429	■適切	□見直し余地あり
		297 昇降機等設備保守点検手数料	1,490	1,490	■適切	□見直し余地あり
		297 総合管理業務、各種保守点検業務委託	20,381	20,323	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり